

久留米自動車工科大学校 自己点検評価

(令和元年度)

教育理念・教育目標・育成人材像等

1 学校の教育目標

当校は、「人間味豊かな産業人の育成」という学校法人久留米工業大学が掲げる建学の精神に基づきながら、自動車整備士養成を目的として、専門の知識・技能の教授を基本に専門職業教育を展開している。

自動車整備の基本である自動車の安全確保、環境保全等の役割を踏まえ、社会的意義の高い仕事であることに誇りを持った「プロフェッショナルな自動車整備士」の育成が、当校の基本的な教育方針である。

2 令和元年度に定めた重点的な取り組み

当校は「教育の質」向上のため、令和元年度は以下の項目に取組み、教育活動を行った。

教育関係	文科省が認定を行う職業実践専門課程（車体整備工学科）の申請を行った
	修学支援法改正に伴う給付型奨学金制度への申請のため、シラバス（授業計画）を改訂した
	シラバス（授業計画）の改訂、授業料減免規程制定に伴い、学則改正を実施した
	修学支援法改正に伴う給付型奨学金制度に必要な準備を整えたうえで申請し、認定校の承認を得た
	新たな教育体制構築に向けて、新任教師2名を雇用した（男女各1名）
	座学と実習を連携させた新たな授業方法を試行した
	タブレット端末を利用した授業・実習を実行することで、最も重要な視覚からの情報入力を向上させた
	一級自動車工学科においてアクティブラーニング（課題解決型学習方法）を導入した
	11月に全学科1年生に対し、久留米工業大学の東教授から自動車ができるまでの工程、自動車業界の仕組み、自動車社会の未来について講話があった
	教育設備充実のため、老朽化した外部診断機5台、車体整備工学科で使用しているシンナー再生機を更新した
学生指導の一環として、現代の若者の心的問題（状況）を理解するための教員研修を実施した	

	久留米工業大学から無償提供された旧型シルビアの全塗装を実施した
福利厚生	生徒の心理的問題を解決させるための学内カウンセリングを継続した
	2年に一度の研修旅行（東京モーターショー見学等）を実施した
	学内ライフライン改修のため、第2受電設備の更新を行った
	学生寮の風呂を重油式ボイラーからガス給湯器へ変更した
学生募集	次年度入試用の学校案内・サブパンフレット・募集要項を2月に完成させ、資料請求者等へ送付した
	女子学生獲得のため、通常のオープンキャンパスに加えて女子会形式の懇談会（現役生徒、女性教師を交えて）を開催した
	多様な連携強化の一環として、同窓会総会を8月に実施し100余名が参加した

3 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	④	3	2	1
① 学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
② 学校における職業教育の特色は持っているか	④	3	2	1
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
④ 学校の教育理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
⑤ 学科やコースの教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

■課題

課題1（項目③） 今後10年ほどで大きく変化すると予想される自動車業界において、そのニーズを的確にとらえた将来構想はあるが、年度別の具体的実施計画などの策定には至っていない。

課題2（項目④） 継続課題であるが、当校の教育理念・育成人材像などの外部周知が万全ではない。

■今後の改善方針

改善1（課題1） 特定整備教育を教授するための設備は整っているが、今後の当校の方針、具体的実施計画の検討を行う。

改善2（課題2） 継続的な問題である教育理念等の外部（ステークホルダー）への周知であるが、次年度更新をするHPにて周知できるようにする。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	4	③	2	1
① 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
③ 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④	3	2	1
④ 人事等に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
⑤ 教育活動等に関する情報公開が適正になされているか	4	③	2	1
⑥ システム化等により業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

■課題

課題1（項目①） 運営方針（中期計画）に沿った事業計画（単年度計画）は策定されているが、教職員への周知が十分ではない。

課題2（項目⑤） 当校の特色ある教育活動等における外部周知が適正に実施されていない。教育成果の数値化（研究紀要のようなまとめ）が作成されていない。

課題3（項目⑥） 事務室における業務内容の偏重が大きく、適正な業務配分ができていない。

■今後の改善方策

改善1（課題1） 事業計画に関しては、各教職員にデータ配布し、教職員が共通理解のもと収支安定に向けて、枠組みをこえて協働することを確認する。

改善2（課題2） 教育活動におけるその成果や実績を数値化できるような方策を検討する。各種資格取得試験の合格率などのデータ収集を行う。

改善3（課題3） 総合事務システム導入は困難であるため、事務関係における業務マニュアルを更新し、各種研修を通して職務内容を深く理解し、実行できるような組織とすることで、業務量の平準化と効率化を目指す。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	④	3	2	1
① 自動車業界が求める人材育成に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	④	3	2	1
② 自動車業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	④	3	2	1
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	④	3	2	1
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	④	3	2	1
⑥ 関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
⑧ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	④	3	2	1
⑨ 資格取得等に関する指導体制はあるか	④	3	2	1
⑩ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
⑪ 関連分野における先端的知識・技能を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取組みがなされているか	④	3	2	1
⑫ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

■課題

課題1 (項目⑫) 事務職員における能力向上のための研修は足りていない。

■今後の改善方策

改善1 (課題1) 事務職員に向けたSD研修(事務職員の能力向上研修)は、当校事務組織構成上、研修実施時間に制限があるため実行は難しい。
しかし、研修資料を工夫し、全員がより等しい能力となるよう書面による研修などを実行する。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	④	3	2	1
① 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
② 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
③ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
④ 卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

■課題

- 課題1 (項目②) 従来の国家試験対策授業は慣例化されており、十分な効果が得られていなかった。
- 課題2 (項目③) 退学者軽減に対しては、適切な指導・対策を講じているが、昨年度に比較し、退学率が上昇している。
- 課題3 (項目④) 卒業生の社会的活躍を定例的に確認する方法は確立されていない。基本的には、第三者からの報告に頼らざるを得ない状況である。ゆえに、卒業後のキャリア形成への効果が把握できずに、教育活動の改善に至っていない。

■今後の改善対策

- 改善1 (課題1) 今年度は補修授業を前倒し、国家試験直前の時期に教員の稼働率を上げた。さらに国家試験前2週間において、合格ラインに満たない者に対し、個別指導を行った。
- 改善2 (課題2) 退学者削減を目的とし、保護者との関係性向上のため、次年度は実習授業参観を土・日曜日に開催する。
保護者の参加者数を増加させ、保護者との接点を強固なものし、関係性の充実を図る。
将来的に、1年次においては、1クラス25名クラス編成とし、少人数教育、いわゆる顔の見える教育へ向けた検討を行う。
- 改善3 (課題3) 本校卒業生は8000人を超えており、日本全国で就業しているため、その状況を把握することは困難である。
今後、同窓会との関係のなかで課題解決の策があるのか検討する。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	④	3	2	1
① 進路に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
② 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
④ 学生の健康管理を担う体制はあるか	4	③	2	1
⑤ 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
⑥ 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
⑦ 高校・高等専修学校等とのキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	4	③	2	1

■課題

- 課題1 (項目④) 学生の健康管理体制は十分ではない。
生徒のけがの件数は多くはないが、手当用具の不足、専門知識を有した者が不在であるため常に不安が残る。
- 課題2 (項目⑥) 卒業生に対する支援体制は、公式なものは存在しない。
在校生指導だけでも余裕がない状態にある。
- 課題3 (項目⑦) 周辺地域の高校等とのキャリア教育（連携教育）が実施されていない。

■今後の改善方策

- 改善1 (課題1) 実習の際の機器の取扱い、機材の危険性への注意喚起は、十分に実施しているが、実習における事故は発生してしまう。
今後も実習時においては、この基礎的指導を徹底していく。
物理的な対策方法として、生徒全員にゴーグルをつけて実習すること、質の高いグラブを使用することなどの対策は行った。
- 改善2 (課題2) 早期離職者に対し、まずはどのような支援ができるのか検討する。
早期離職者に対し、求人があるのか否か、現状を把握する。
卒業後の早い時期に、アンケートや状況把握できるような手紙を送付する。
- 改善3 (課題3) 高校ガイダンスにおける体験学習等は実施しているが、特定の学校との連携教育は実現できていない。高校からの要望、授業時間の確保、カリキュラム編成など、問題は多岐にわたるため、実施可能かどうかを検討する。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
① 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	③	2	1
② インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
③ 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

■課題

課題1 (項目①) 各教育棟、学生寮などの福利厚生施設は老朽化が進み、2号館の雨漏れ・壁面のクラック、照明器具のLED化の遅れなど、様々な問題がある。

課題2 (項目③) 防災に関しては、火災訓練ができていない。

■今後の改善方法

改善1 (課題1) 施設改修については、施設状況調査の作成と施設改修計画の更新が必要であり、実施に向けては法人本部と協議する。

改善2 (課題2) 火災訓練は、まず、第一段階として、教職員のみで実施を検討する。そのための消防計画の周知と各所の防災器具の確認を行う。

(7) 学生募集

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
① 学生募集活動は、適切に行われているか	④	3	2	1
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
③ 校納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

■課題

課題1 (項目①) 令和元年度は、高校訪問を中心とした人的広報（マンパワーによる広報）からWEB媒体等を積極的に利用した情報ネットワーク型広報に切り替え、当校接触者に対し、戦略的に情報を提供したが、入学者増加には繋がらなかった。

課題2 (項目②) 情報提供に関して、教育成果という数値化された情報や具体的な事項を強く周知することができなかった。

■今後の改善方法

- 改善 1（課題 1） 学校案内、サブパンフレット、募集要項作成の早期作成はすでに実施した。各広告代理店が発行する受験雑誌および受験用 web 企画への参画数を増加させた。
地区別強化地域として沖縄県を選定し広報強化をする。
給付型奨学金の周知、当校接触者への情報提供は費用等を含め、戦略的に実施する。
- 改善 2（課題 2） 教育成果は、令和 2 年度使用の学校案内に数値化されたデータを記載している。
HP にも同様に分かりやすい教育成果を表記する。

(8) 財務

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	4	3	2	1
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
③ 財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

■課題

- 課題 1（項目①） 当校は周知のとおり、入学者、在校生の学納金収入が主な収入である。入学者数の減少に伴い、収支状況は悪化している。
収入の不足は積立金の不足ともなり、経年劣化していく施設の大規模な改修計画などの策定や実行が困難となっている。
受験生にとって、キャンパスの視覚的イメージは大変重要であるが、そのイメージ戦略が立案できない状態である。

■今後の改善方策

- 改善 1（課題 1） 収支改善の対策は、収入を増やすための広報施策への注力と、魅力ある授業を提供して、授業満足度を上げることで、退学者数を限りなく減らすことにある。
次年度に向けては、(7) 学生募集の項に記載したとおり、接触者に対して今まで以上に適切で工夫した情報を提供し、オープンキャンパス参加者を増加させ、1 名でも多くの入学者を獲得し収支安定を図る。

(9) 法令遵守

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
	④	3	2	1
① 法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
④ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

■課題

課題1（項目②） 個人情報に関する規程の周知が出来ていない。

課題2（項目③） 自己評価に関しては、今後、評価項目の精査や問題点の改善の具体的実施内容の公表が必要。

■今後の改善方策

改善1（課題1） 当校の個人情報規程を教職員に周知するため、学則・規則等のとりまとめを行う。

改善2（課題2） 将来、義務化されると思われる第三者評価にむけた準備をする。
給付型奨学金受給に伴う会計検査院対策監査の準備を検討する。